

第16組常照寺住職 森林晃祥

「今、いのちがあなたを生きている」（宗祖親鸞聖人 750 回御遠忌法要テーマ）

日頃、私たちは、あーだ、こーだと自分の都合中心に過ごしています。そして、都合の悪いことが起こると、悩み、苦しみ、腹を立て、何んとか都合がよくなるようにと、願い、考え、もがいているのではないのでしょうか。

そもそも「いのち」は、父母をとおして与えられ、働いていてくださる。気付いたら目が見え、耳が聞こえ、手足が動き、いろんなことを考え、感じ生きている。そのどれもが自分の努力を超えた具わりとして頂いている。

それは当たり前のことであって、それを失うことに恐怖を抱き、失わないように一生懸命になる。利用できるものは何でも、他の犠牲を省みることもなく。自己中心な自分が頭わになる。そこには、断絶、孤立、孤独そして絶望へと繋がる・・・。

「健康が第一」よくお年寄りから聞く言葉ですが、病気であっても、障害があっても、いのちは働き続けていてくれます。

草木が芽生え、花が咲き、鳥がさえずるその姿に、ただ生きるというそのことを困難にしている私のありようが照らし出されます。